

# だい き がいこくじんしみんかいぎ 第8期外国人市民会議

## ほうこくしょ 報告書 がいようばん 〔概要版〕

とよなかし がいこくじんしみん こえ しせい い へいせい ねん ねん がつ がいこくじん  
豊中市では、外国人市民の声を市政に活かすために、平成17年(2005年)7月に「外国人

しみんかいぎ すたーと こんかい がいこくじんしみんかいぎ きめ がいこくじんしみん にん  
市民会議」をスタートさせました。今回の外国人市民会議で8期目になります。外国人市民9人

がい いん れいわがんねん ねん がつ ねんかん かい いけんこうかん おこな  
が委員として、令和元年(2019年)7月からおよそ2年間、4回にわたって意見交換を行いました

た。こんき しんがたころなういるす えいきょう いいんどうし あつ かいぎ むすか  
た。今期は新型コロナウイルスの影響により、委員同士が集まって会議をすることが難しかった

ので、だい かい だい かい かいぎ おんらいん じっし  
第2回から第4回までの会議をオンラインで実施しました。

だい き てーま す な ちいき けんこう く にちじょうせいかつ なか ことば かべ  
第8期のテーマを「住み慣れた地域で健康に暮らすために」とし、日常生活の中で言葉の壁や

ぶんか ちが かん ぼめん いけん しんがたころなういるす  
文化の違いを感じた場面についてさまざまな意見をいただきました。また、新型コロナウイルスの

かんせん かくだい なか こま いけん  
感染が拡大する中での困りごとなどの意見もたくさんいただきました。

はな あ いいん みな いけん ほうこくしょ さくせい  
話し合いのなかで委員の皆さんからいただいた意見を、報告書として作成しました。

れいわ ねん ねん がつ  
令和3年(2021年)5月

とよなかしがいこくじんしみんかいぎじむきょく  
豊中市外国人市民会議事務局

じんけんせいさくか  
人権政策課

## だい き て ー ま 第8期のテーマ

# す な ち い き けんこう く 「住み慣れた地域で、健康に暮らすために」

### ◆ かいぎ だ おも いけん 会議で出された主な意見(まとめ) ◆

#### いりょう ■ 医療について

もんしんひょう にほんご か がいこくじん むずか がいこく  
○問診票を日本語で書かないといけないことは外国人にとって難しい。外国

じんむ とくべつ そち ひつよう おも  
人向けのクリニックなど、特別な措置が必要だと思う。

とよなかし いりょうつうやく せいど がいこくじん びょういん い  
○豊中市に医療通訳の制度がないため、外国人のなかには病院に行くことや

いし こみゆにけーしょん と ひと びょういん い  
医師とコミュニケーションを取ることがうまくいっていない人がある。病院に行け

つうやく いっしょ びょういん い つうやく ひつよう  
ばいる通訳ではなく、一緒に病院に行ける通訳が必要である。

がいこくじん ことば わ じょうたい びょういん い ふあん おも  
○外国人は、言葉が分からない状態で病院に行くことを、不安に思っている。そ

うえ つうやく かね つよ ふあん かん おも  
の上、通訳にお金がかかるため、より強く不安を感じていると思う。

## ■ 教育について

○学校からもらう成績通知表について、文化や習慣の違いで知らないことがあつて、きちんと評価されていないと感じるときがある。日本の教育システムや学校生活を知らない外国人の親への支援が必要である。

○学校の生徒の中には外国人の子どもや海外転勤などで日本語が苦手な日本人の子どもがいる。学校からのプリントが全部日本語や漢字で書いていると、読めないことがある。

## ■ 食文化について

○宗教上の理由で、食べることが出来ないものがある人がいる。いろんな小学校でそのことが理解出来ておらず、また外国人側も言葉の壁でちゃんと説明できていない。

○子どもにとっては、家の料理以外に、外で食事をすることや、給食を通して日本の文化に触れることも大事であると思う。

## ■ しんがたころなういるすかんせんしょう 新型コロナウイルス感染症について

- <sup>がいこくじん</sup>外国人が<sup>じょうほう</sup>情報を<sup>う</sup>受け<sup>と</sup>取れる<sup>つーる</sup>ツールが<sup>すく</sup>少ない<sup>おも</sup>と思う。新型コロナウイルス感染症  
に関して<sup>かん</sup>不安<sup>ふあん</sup>になった<sup>とき</sup>時や<sup>ちりょう</sup>治療<sup>ひつよう</sup>が必要な<sup>とき</sup>時、どこに<sup>はなし</sup>話を<sup>わ</sup>すればいいのかわ  
らないので、<sup>がいこくじんむ</sup>外国人向けの<sup>いりようさぽーと</sup>医療サポートがあれば<sup>よ</sup>と良いと思う。

## ■ た その他

- <sup>いま</sup>今まで<sup>さんか</sup>参加した<sup>いべんと</sup>イベントは<sup>ぜんぶにほんじん</sup>全部日本人が<sup>しゅどう</sup>主導の<sup>かつどう</sup>活動だった。<sup>がいこくじん</sup>外国人が<sup>しゅどう</sup>主導で、  
<sup>にほんじん</sup>日本人を<sup>ひ</sup>引き<sup>こ</sup>込んだ<sup>いべんと</sup>イベントが<sup>おも</sup>できればいいと思う。

- <sup>さいがい</sup>災害などの<sup>きんきゅうじ</sup>緊急時に、<sup>がいこくじんどうし</sup>外国人同士が<sup>たす</sup>助け<sup>あ</sup>合<sup>ね</sup>える<sup>ネットわーく</sup>ネットワークがあればいい。

- <sup>ぶんしょう</sup>文章に<sup>るび</sup>ルビを<sup>ふ</sup>振<sup>ないよう</sup>っていても、<sup>にほんじんむ</sup>内容が日本人向けで<sup>にほんご</sup>やさしい日本語ではない。

- <sup>がいこくじん</sup>外国人が<sup>しごと</sup>仕事をする<sup>ばしょ</sup>場所を<sup>ひろ</sup>広げるために、<sup>しごと</sup>おすすめの<sup>じょうほう</sup>仕事の<sup>ていきょう</sup>情報を<sup>しごと</sup>提供した  
り、<sup>しゃかい</sup>社会に<sup>さんか</sup>参加できるように<sup>すす</sup>進めてほしい。仕事の<sup>ほん</sup>本も、<sup>しごと</sup>ひらがな<sup>ほん</sup>やさしい  
<sup>にほんご</sup>日本語の<sup>つく</sup>ものを作ってほしい。